

最賃の改善・中小企業の支援を

市政改革委 長岡ゆりこ議員が提案

意見表明する長岡議員＝
18日、大阪市議会市政改革委員会



18日の大阪市議会市政改革委員会で日本共産党の長岡ゆりこ議員は、最低賃金改善と中小企業支援拡充を求める意見書の採択を求める陳情について意見表明しました。

長岡氏は、大阪府の最低賃金は時給992円

で、正社員でも時給換算すれば8時間労働で月収は15万円にもならないと指摘。大阪労連が行った調査では、大阪で25歳の青年が一人暮らしをするには最低で月収24万円が必要で、時給換算で1600円だと紹介しました。長岡氏は、8時間働けば普通に暮らせるようにするために、最低賃金の確保や社会の仕組みを変える課題もあるが、「大阪市にできる」と強調しました。大企業にため込んで内部留保を吐き出して経済活性化に寄与するよう指導することを提案。

その算出根拠も、家賃はワンルーム・共益費込みで4万8千円、水光熱費は5千円程度、散髪は男性が2カ月に1回4千円、女性は3カ月に1回1万円など、質素な生活だと強調。月収15万円以下を提案。